

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度 第1回戸田市スポーツ推進審議会
開催日時	令和元年8月29日(木) 14時00分 ~ 16時00分
開催場所	戸田市役所 本庁舎5階 502会議室
議 題	報告事項 (1)「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査」の集計結果について (2) 戸田市スポーツ推進計画の進捗について 審議事項 国・県計画に係る目標指標及び戸田市の目標指標(案)について
会議結果	今後の作業として、事務局側で以下の事柄を検討していく。 ①「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査」に係る詳しい考察を行っていくこと。 ②「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査」の意見を集約し、案を出すこと。

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	会議次第1 開会
会長	会議次第2 あいさつ
委員	会議次第3 委員自己紹介
	会議次第4 議事
会長	はじめに、報告事項(1)「スポーツ・レクリエーションに関する意識調査の集計結果について」事務局より説明願う。
事務局	<b>審議事項(1)について説明</b> 平成31年4月20日から5月31日までに実施したスポーツ・レクリエーションに関する意識調査の概要及び集計結果について報告。集計結果については、各設問の集計結果に見られる傾向及び前回(平成25年実施)結果と比べて特段大きな変化がない旨を説明。
副会長	平成25年調査から大幅な変化はみられたか。
事務局	基本的に大きな変化はみられない。
副会長	回答者の要望は、エリアサービス(施設)、プログラム(イベントや教室)、マンパワー(指導者)ということで共通している。前回調査結果と比較のうえで課題解決に活かしていくことが良いのではないかと。 6階層の年齢に対して調査を実施しているが、これは戸田市の人口構成と同じスケールなのか。
事務局	同じである。年齢別、性別、地域別の人口比により対象者を抽出している。
副会長	回答者のうち18~19歳の若い世代が少ない。
事務局	高齢者の割合が多い結果となった。
副会長	問9-2について、1週間に1回以上スポーツを行った人の数が少ない結果が出ている。国・県の数字(60%)と市の結果に差が見られる。一番問題ではないか。
事務局	国・県はインターネットによる回答方法のアンケートを実施しているので回答率が多い傾向にあると考えられる。一方戸田市は無作為に対象者を抽出し、郵送で行っている。アンケートの実施や集計方法が違うので、結果に差が出たと考えられる。実施や集計手法について再検討をした方がよい可能性

	はある。
会長	国・県のアンケート調査は、徒歩による通勤や通学も「運動」に入れているらしい。職場や学校から遠い駅で電車を下車し、歩いていくことも運動ととらえると、もう少し戸田市のスポーツ実施率の数字も大きくなるかもしれない。 回答割合が地域によって違うのはなぜか。
事務局	戸田市のアンケート調査では、徒歩通勤・通学は運動ととらえていない。地区住民の数の比率で対象者を抽出しているので、回答割合にバラつきが出ていると思われる。
副会長	同じ比率で配布しているなら、同じ率でアンケートが返ってきて良いと思う。回答地区の比率があまりにも違うと、結果に影響して問題になるのではないか。例えば、施設が不足している地域では、「施設が充実していない」と回答し、逆に充実している地域では、「指導者が不足している」と回答する傾向になることが考えられる。集計結果をクロス集計することで、市民のニーズが分かり、次の計画に盛り込むことができると考える。
事務局	各地区のアンケート送付数を確認し、地域ごとの関心の違いについて分析したいと思う。
副会長	年齢・地域ごとのアンケート結果の分析を行い、違いをもう少し見つけてほしい。 また、調査票の作成にあたって、戸田市が「水辺のスポーツのまち」であることが市民にどのくらい浸透しているかを盛り込むよう意見をしたが、いかがか。
事務局	ボートやカヌーについて、質問を設けた。アンケート結果12頁の間17から問20がこれに当たる。
会長	ボート経験者（回答数114、割合15.2%）が多いようである。
事務局	ボート経験者が多い結果が出た。競技用以外のボートの経験を回答されていることを考えたが、設問には「彩湖」又は「戸田ボートコース」と、競技用ボート以外のものは実施できない場所を明記しているので、誤りではないと考えられる。
会長	市主催のボート・カヌー教室を知っている人も意外に多い結果が出た。
事務局	年間100人以上は教室に参加していただいている。認知度が上がってきていると考えられる。

副会長	ボートクラブは市内にあるか。
事務局	「市民クルー」があり、戸田ボートコースで練習している。
事務局	平成30年から戸田ボートコースでイベントが実施されており、そこでボート・カヌーの体験も行われている。市民が水辺のスポーツを観たり体験できる機会が増えたと思う。「教室」の開催には限界があるので、観て参加できる機会を増やしていきたい。
副会長	水辺のスポーツというと命に関わる印象があるので、子ども等は参加が気軽にできないかもしれない。
委員	イベントでは、安全を考慮して救命胴衣を着用している。ボート体験に関しては小学校4年生以上を対象にしていると聞いた。参加できる対象も限られる。
会長	水辺のスポーツ（特にボート）は危険を伴うので、普及が難しいか。
事務局	戸田市では、彩湖やボートコースでボート教室を開催し、今後も体験の機会を提供していく予定である。カヌー教室の参加者は、対象を小学校1年生からとしているので、ボート教室の参加者数の実績値と差があると思う。
会長	それでは、他に質問等はあるか。
委員	質問等なし
会長	では、報告事項（2）「戸田市スポーツ推進計画の進捗について」事務局より説明願う。
事務局	<b>報告事項（2）について説明</b> 戸田市スポーツ推進計画の進捗について、平成30年度実績を資料に沿って報告。「指標①市民のスポーツ実施率（週1回以上）の向上」については前回結果に比して変化なし。「指標⑥スポーツセンターの利用者数の増加」については、プール及び陸上競技場の改修工事による閉鎖により人数が減少傾向にある旨を補足説明。
事務局	補足であるが、戸田市スポーツセンターにおいて、令和元年度は柔道場と剣道場の改修工事を、令和4年度に施設全体の大規模改修を予定している。利用者数が大きく変動することが想定できるので、指標⑥のスポーツセンターの利用者数については、次期は目標指標から外すことを検討している。
副会長	「指標①市民のスポーツ実施率（週1回以上）の向上」に関しては、何か対策をしなければならないと思う。国・県に比べて低い結果である。「指標⑧国際大会等の出場者数の増加」については良い結果であると思う。表彰を実

	<p>施したことで、効果があったとみてよいと思う。オリンピック・パラリンピックも控えているし、中高生の励みにしてもらえるよう大きく取り上げてほしい。</p>
委員	<p>「指標⑧国際大会等の出場者数の増加」については、10代のジュニア世代をどう育てていくかで、将来の数字が変わっていくと思う。</p>
副会長	<p>指標⑧の数字を伸ばすために、埼玉県が実施していて、応募者も多く実績もある「プラチナキッズ」と同じような事業を市でも実施してみることも良いと思う。</p> <p>指標①の実施率の向上については、普段運動を行っていない人に対応していくことで、将来の数字が大きくなると思う。</p>
会長	<p>「指標③総合型スポーツクラブの創設」を増やしていく必要があると思う。</p> <p>問9-8「スポーツを行わなかった理由」に挙げられたことへ対応していけると思う。</p>
委員	<p>戸田市は水辺のスポーツのまちとして、ボートやカヌーを小中学校の総合的な学習の時間の体験学習として行うなど、教育の一つとして取り入れていくのはどうか。スポーツセンターの改修による閉鎖で施設が使用できず、スポーツを行う機会が減ると思うので、指標③や指標④「市主催のボート・カヌー教室の参加者数の増加」などの数字を増やすため、学校教育を手厚くしてみてはいかがか。</p>
委員	<p>学習指導要領には水辺の活動を行って良いとされているが、埼玉県は海無し県ということで、水辺のスポーツに触れる機会がないため、プールの学習を強化していく方針である。その他の水辺のスポーツは行っていない。学校現場の状況からも、要望があってもすぐに首を縦にふるできない状況である。</p>
事務局	<p>市には、スポーツセンターに代わるスポーツ施設がない。改修工事等で閉鎖している間に、スポーツを行う機会を設けるために、近隣市のスポーツ施設利用の助成や支援を行うことを検討している。</p>
副会長	<p>学校での教育については非常に重要な議論であるが、今回のアンケート調査では、問8に記載のとおり学校の授業や職業で行ったものは除かれている。</p> <p>他市の例を見ると、総合型地域スポーツクラブは人数も減っており、登録している人も高齢化が進んでいるようだ。教室も大体平日午前の利用で参加も難しい。</p>

委員	学校現場でも取り組む種目や領域を増やす努力をしているが、市からの支援が欲しいと思う。総合型地域スポーツクラブを実施したいと思うが、学校の部活動との間で実施について意見が分かれている状況である。
会長	指標⑧は、地域からスポーツ選手を輩出することだが、そうするとジュニア世代の育成が大事である。個々の持っている能力を適切な方向へ向かわせるためにも、指導者の育成も必要である。指標③の総合型地域スポーツクラブにおいて実施できれば良いと思う。
会長	意見がさまざま出たが、他に質問等はあるか。
委員	質問等なし
会長	では、次の議題3「国・県計画に係る目標指標及び戸田市の目標指標（案）」について事務局より説明願う。
事務局	<b>議題（3）について説明</b> 戸田市の目標指標を再検討するにあたり、国・県の目標指標の概要について触れたうえで、戸田市の目標指標の見直し（案）を提示した。これまでの指標②、③、⑥を削除し、指標④「トップアスリートとの交流イベントの開催」の目標値を年4回から5回に変更した。新しい指標として指標⑥「スポーツ観戦の機会（年1回以上）」及び指標⑦「ボート競技への関心度」を設けた。
副会長	日本のスポーツ界を支えているのは、学校、企業、地域であると思う。総合型地域スポーツクラブは戸田市に3か所あるが、もっと増やせるのではないか。
会長	これまでは、総合型地域スポーツクラブを中学校区に1か所設置していくことを目標にしていたし、現行のクラブにおける受入れは飽和状態である。総合型地域スポーツクラブに関する指標が次期の計画で削除となったら、その分何かでカバーする必要があると思う。
委員	新指標⑥「スポーツ観戦の機会（年1回以上）」は、市外の観戦でもよいのか。
事務局	市外でもよい。来年開催のオリンピック・パラリンピックの観戦も想定している。国「スポーツ推進計画」の政策にもスポーツを「みる」取り組みが盛り込まれているため、戸田市においてもスポーツ選手を呼ぶ機会を増やす予定である。
副会長	国計画では、スポーツを「する」ことだけではなく「みる」ことも参画としている。スポーツを観戦することも、スポーツへの参加と捉えられるのであ

	る。
会長	地元で観戦を行うことが一番効果があると思うので、是非市内で行ってほしい。
委員	指標①のスポーツ実施率が下がっている。アンケート問9にスポーツをする「機会がない」、「余裕がない」と回答した人が一定数いるので、意欲のある人を取り込む機会を作ってほしい。他には、教室を開催することや、市民が総合型地域スポーツクラブに気軽に参加できるようにするのはどうか。現在の総合型地域スポーツクラブには公認の指導者がほとんど居ない状況なので、安全に初心者がスポーツを体験できるように、公認の指導者を育成できるよう支援・案内を行っていくことも効果があるのではないかな。 海外の地域住民主体のスポーツクラブのように、街なかで一人でも参加でき、安い費用で行えるような内容に見直しをすることも必要だと思う。
副会長	スポーツをするのに時間がないという人については、仕事の後等にも通える民間スポーツ施設の利用が効果的だと思う。他自治体のように補助金を出すなど、民間スポーツ施設の利用促進を一つの政策にしてみるのはいかがか。
会長	スポーツは「お金を払って行う」という意識もある程度作っていくことも重要だと思う。 様々な意見が出たが、今後は総合的に検討していく必要がある。
会長	他に何か意見・質問等はあるか。
委員	質問等なし
会長	以上で議事は終了とする。
	<b>【閉 会】</b>